



森税理士の 「ちょっと気になる税務のはなし」

アグリビジネス・
ソリューションズ株式会社
代表取締役 森 剛一氏

税務相談窓口

事業推進課 経営指導相談係

■問い合わせ先

TEL : 0824-64-2072 Fax : 0824-64-2233

貸借対照表の分析

青色申告も終わり、ホッとされている方も多いのではないでしょうか。昨年度の決算書を用いて、財務状態のチェックをしてみましょう。項目ごとのチェックポイントと経営診断・改善のポイントを挙げていきます。

貸借対照表は、企業の財政状態を表示したもので、以下のように項目が分類されています。

借 方	貸 方
資産の部	負債の部
1 流動資産	1 流動負債
①当座資産	
②棚卸資産	
③その他流動資産	
2 固定資産	2 固定負債
①有形固定資産	
②無形固定資産	
③投資その他の資産	
3 繰延資産	純資産の部
	1 株主資本
	①資本金
	②資本剰余金
	③利益剰余金 (繰越利益剰余金)
	④自己株式
	2 評価・換算差額等
	3 新株予約権
資金の運用形態	
資金の調達源泉	

<チェックポイント>

[資産の部]

I 流動資産

(1) 当座資産

○現金

<農業経営の特徴>

農畜産物の直営小売店舗やレストランを兼営している場合を除き、通常は、現金残高は少ないはず。

<経営診断・改善のポイント>

残高が多い場合、勘定残高が実際の在り高と一致しない可能性あり。現金管理がルーズな場合、経営管理全体に影響する。

(2) 棚卸資産

○商品・原材料・貯蔵品

<経営診断・改善のポイント>

在庫水準が過大にならないよう、過去3期の推移をチェック。仕掛品や製品は、一定程度の在庫の保有が必要だが、商品や原材料、貯蔵品は適宜の仕入れにより、在庫水準の圧縮が可能。

○仕掛品

<農業経営の特徴>

栽培中の飼料作物(未収穫農産物)や肥育中の家畜(販売用動物)は、財務諸表上、仕掛品として表示されるため、比較的多額になるケースが多い。

育成中の家畜が、流動資産に計上されている場合があるので、育成仮勘定(有形固定資産)に振替する。

<経営診断・改善のポイント>

売上高とのバランスをチェック。期末の仕掛品が増えたときは翌期の売上高も連動して増えるはず。

(3) その他流動資産

○短期貸付金・立替金・仮払金

<農業経営の特徴>

法人の場合、従業員への貸付金がある場合が比較的多い。

仮払金として計上されているものの中に、経営安定対策の積立金が含まれる場合がある。この場合は、経営安定積立金に振替。

<経営診断・改善のポイント>

「悪の3勘定」不明瞭な経理が多いとこれらの勘定が多くなってきます。

「立替金や仮払金が多い→ルーズな管理」をしていると思われやすい。

II 固定資産

保険積立金

<農業経営の特徴>

法人の場合、役員退職慰労金に備えて代表者を被保険者とした定期保険等の契約が多い。

[負債の部]

I 流動負債

買掛金・未払金・未払費用

<経営診断・改善のポイント>

買掛金は、通常取引による未払金。未払費用は、継続的役務提供に対する未払金。固定資産の購入等による営業外の未払金である「未払金」の残高は、事業年度によって変動が大きい。これに対して、買掛金、未払費用の残高の水準は安定的で、変動が大きい場合には、費用の計上漏れの可能性がありうる。

法人設立した時の引継未払金など役員に対する未払金が流動負債の未払金として計上されている場合がある。その場合は、役員長期借入金(固定負債)に振替する。

II 固定負債

圧縮特別勘定・農用地利用集積準備金・農業経営基盤強化準備金

<農業経営の特徴>

農業生産法人の課税の特例について、引当金経理方式で計上している場合がある。→利益剰余金(株主資本)へ振替

$$\text{仕入債務回転日数(日)} = \frac{\text{仕入債務(支払手形+買掛金)}}{\text{商品・材料仕入高}} \times 365$$